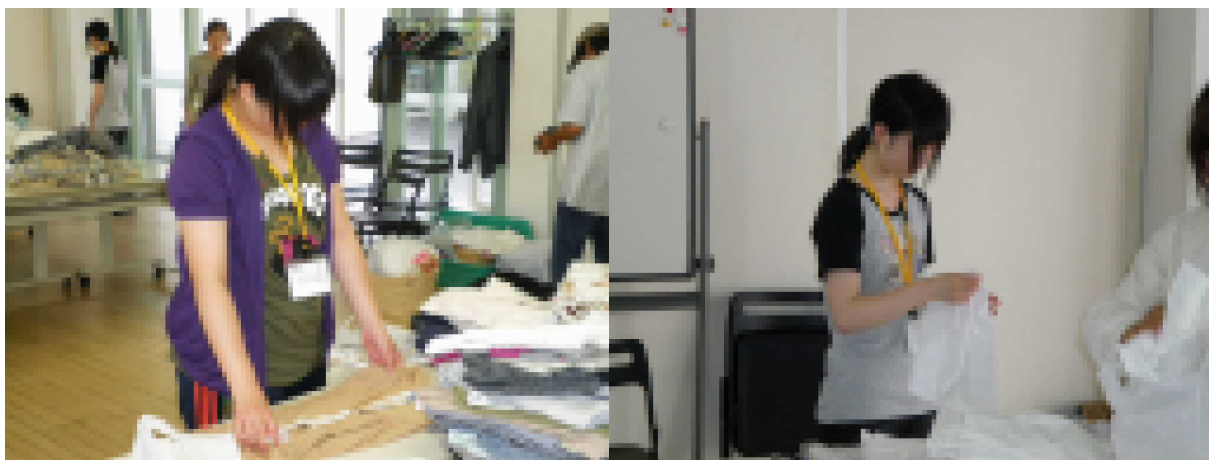


炊きだしボランティア通信 vol 41 2010. 7月

炊きだし 7月10日（土）晴れ 12:00～五橋公園

なにしろ暑い日になりました。公園に集まった方は68人(女性2人)でした。本校からはボランティア同好会の2年生部員が三人参加しました。1人は三回目の参加ですが、二人は初参加です。それでも準備の時には大人のスタッフに教えてもらいながらのびのびと一生懸命働いていました。また公園で並んでいるホームレスの人達に、きちんと顔を見ながら笑顔で1人1人に話しかけているのを目にして、たいへん感心しました。生徒たちは、ホームレスの人に若い人が多い気がする事に驚いていました。

「何でも相談コーナー」のWさんの所には、お二人の相談者が来たそうです。1人は、会社が倒産をして3日前から路上を始めたとのこと。「萌友」のアパート(NPO の施設)に入って生活保護申請をする相談でした。申請の審査も徹底した厳しいものなのだそうです。生い立ち調査からはじめ、家族兄弟、親戚にいたるまで連絡しつくして本人の援助について相談するのだそうです。……



～参加生徒感想から～

○炊き出しは3回目の参加で初めての調理担当だったが、スタッフの方と協力をしてスムーズにできたと思う。今回の炊き出しでは前よりも若いホームレスの人が増えていた。これは深刻な問題だと感じた。これからも私にできることを少しずつやっていき、学校以外でも社会の一員として役に立てればと強く思った。(2年)

○今回初めて炊き出し活動をして、最初は仕事ができるか不安だったけれど、教会の方がやさしく教えて下さったので、スムーズに自分の仕事ことができました。石鹸を配っているときや靴をさし上げているときに、ホームレスの方から「ありがとう」と言われてとてもうれしかったです。次回はもっと積極的に多くのことができるように自ら進んで仕事をしてゆきたいです。(2年)

○今回全てが初めてで、実際にホームレスの人達に衣類などを配ったときはとまどってしまってあまり動けませんでした。でも教会の皆さんが優しく教えてくれて、本当にうれしかったです。大変なこともあったけど、みんなで協力できて楽しかったし、とてもよい経験になりました。次回はもっと積極的に動ければと思います。(2年)



夜回り 7月7日(水) 20:00 ~ 21:30 曇りのち、雨降りだす。湿気150%ぐらい。Tさんと二人で回った。聞けばTさんは自分と同郷の岩手ご出身だった。岩手の水沢の話を懐かしくしながら歩いた。愚直なタイプ。黙々とおむすびを配った。国際センターで歩き出したところから雨が降りだした。裏のベンチに1人、表に1人。西公園旧図書館。軒下でビールをやっている人1人。おむすびゆで卵だけさし上げた。他に奥とその隣もまわり、Oさんのおむすびのないことに気づいた。卵だけ10個ほど残っている。用意した人が間違えたのだろう。「きょうはおむすびがないのです。」と言うと、「えっ」と、今まで見たことのないほどがっかりさせてしまった。申し訳ないことをした。「最近食料がなくてねえ」とはじめて抗議された。おむすびは切れたけれども、それでもゆで卵5個、バナナ2本、米一合。カセットボンベ1本、みそスープの残りの具全部とスープを小鍋に入れてきた。「この陸橋付近の遺跡調査のために立ち退いて欲しいと言われた。だから来月いないかも」「頑張ってください」「明日公安になんて言うか、今夜これからサッカー見ながら考えるよ。」ニヤっとしながら言ったので、これは大丈夫と思った。